

新型コロナウイルス イタリアで死者数が中国超えた理由とは やはり中国人??

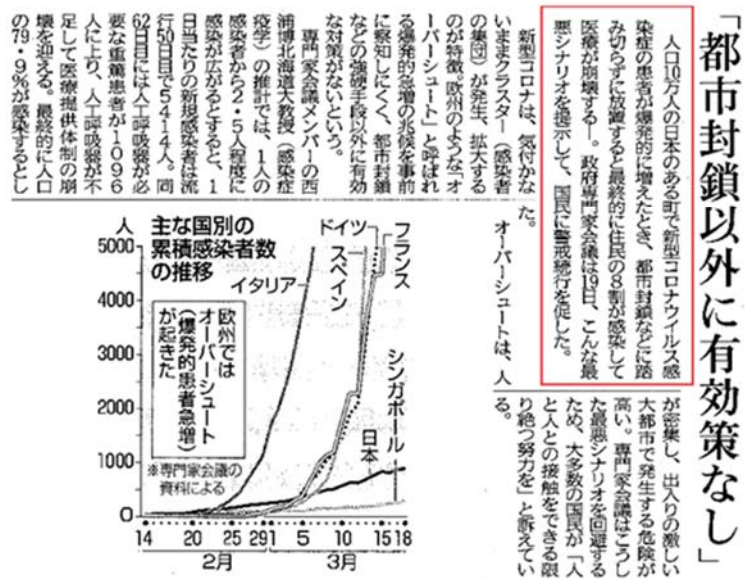
春分の今日、東の空からはいつもと変わることはない明るい太陽が昇った。だが、この泰然とした大自然と比べると、地上においては大きな負の変化が起こり、それがまだまだ予断を許さぬ状況下にある。新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大である。1月中頃の小さく見えた火種が次第に大きくなり、今では全世界・地域を鎖国状態にまで追い込むまでにその勢いを増した。小人としては太陽のコロナが天から落下し、この地上をまさに焼き尽くさんとしているとの幻想をも抱いてしまう。

この影響は広く経済にも及んでいる。人の流れと物流は寸断され、海外への航空便は著しく減少せざるを得ず、工業生産も著しく低下した。この影響を受けてエネルギー需要も落ち込み、多くの産油国においては採算の合わない原油価格 20 ドル台前半へと落ち込んだ。ニューヨークダウは 3000 ドル近辺より一気に 2000 ドルを切ることになった。日経平均も 2 万 4000 円近くより 1 万 6000 円近辺よりその価値を落とすことになった。

多くの企業が倒産の危機に直面している。カントリーリスクというが、全世界に火の手が上がり、世界中の国すべてがリスクを抱えている状況である。国や地域はその境界を閉ざし、世界に張り巡らされた物流網は再構築を余儀なくされるまでになりつつある。この厄災が、おそらくは企業の在り方、そしてリスク管理の在り方を大きく変えていくことは間違いない。この厄災が過ぎ去ったのち、浮上する国と沈む国が明確に色分けされてくることだろう。日本はどちらの側に属することになるのか?

添付記事は断りのない限り  
本日 (2020 年 3 月 20 日) 神戸新聞からのものです。

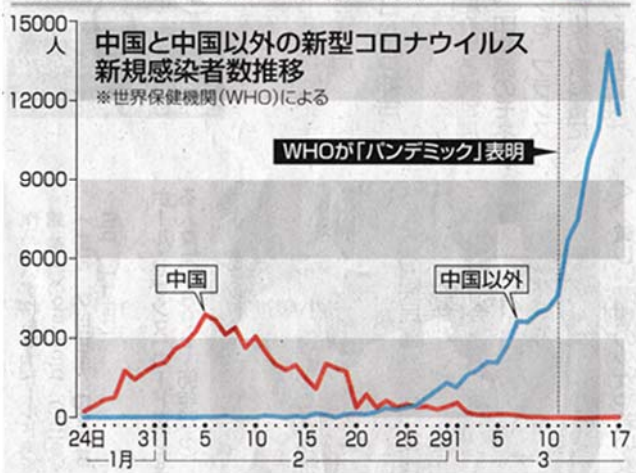
## 新型コロナ 専門家会議が最悪シナリオ 住民 8 割感染、医療崩壊



**新型コロナウイルス感染症** 中国湖北省武漢市で2019年12月に肺炎患者が相次いだ後、世界中に広がった新型コロナウイルスが原因の感染症。既知のコロナウイルスのうち4種類は風邪の原因の10〜15%を占める。今世紀に入ってから、重症急性呼吸器症候群(SARS)と中東呼吸器症候群(MERS)を発症する新型が現れ、今回は7種類目。1〜14日間の潜伏期を経て、発熱、の痛み、せき、だるさが生じる。一部で肺炎となり重症化する。高齢者や持病のある人が重症化しやすい。無症状や軽症の人も多く、気付かずに感染を広げているとみられ、拡大防止を困難にしている。

**新型コロナウイルスを巡る経過**

- 2019年 12月 ▶ 中国湖北省武漢市が原因不明の肺炎患者を確認と発表
- 20年 1月 9日 ▶ 中国で患者から新型コロナウイルス確認と報道
- 16日 ▶ 神奈川県在住で中国籍の男性の感染を確認と厚生労働省が発表。国内初の確認
- 28日 ▶ 武漢のツアー客を乗せた日本人バス運転手の感染確認。渡航歴のない感染者は国内初
- 30日 ▶ 世界保健機関(WHO)が緊急事態宣言
- 2月 1日 ▶ 日本で感染症法の指定感染症に。香港で感染確認された男性が日本に戻るクルーズ船に乗っていたことが判明
- 3日 ▶ 横浜に到着したクルーズ船の検疫開始。その後、乗客や乗員の集団感染が判明
- 8日 ▶ 武漢市で入院していた日本人男性が新型肺炎の疑いで死亡
- 13日 ▶ 神奈川県の80代女性が死亡。国内初の死者
- 20日 ▶ クルーズ船の乗客の80代男女が死亡。乗船者で初の死者
- 27日 ▶ 安倍晋三首相が全国の小中学校、高校を3月2日から臨時休校にする考えを表明
- 28日 ▶ 北海道の鈴木直道知事が「緊急事態宣言」
- 3月 4日 ▶ 国内の感染者が1000人超える
- 6日 ▶ 世界の感染者が10万人超える
- 11日 ▶ WHOが「パンデミック(世界的大流行)」表明
- 13日 ▶ 新型コロナウイルス特措法が成立、緊急事態宣言が可能に。WHOがパンデミックの中心は欧州に移ったとの認識を示す。トランプ米大統領が国家非常事態を宣言
- 18日 ▶ 世界の感染者が20万人超える



日本も感染拡大にやっきとなっている。

国は「クラスター封じ込め」戦略をとっている。

そのために、

- 諸外国との往来の禁止や抑制措置
- 人の多く集まる集会の中止要請
- 小中高校の臨時休校
- 大阪府と兵庫県の行き来の削減(昨日要請) など

**新型コロナ 未知のウイルス**

日本国内で新型コロナウイルスの感染が確認されてから、約2カ月で流行は全国へ広がった。国内の感染者は千人を超え、クルーズ船の乗客やチャーター機による帰国者を除いても千人に迫る勢いだ。ごく一部の感染者が多くの人に広がっているとみられ、さらなる拡大を食い止めるために国はクラスター(感染者の集団)の封じ込めに重点を置く。

**感染2カ月 全国で流行 クラスター封じ込め**

新型コロナウイルスの感染が確認されてから、約2カ月で流行は全国へ広がった。国内の感染者は千人を超え、クルーズ船の乗客やチャーター機による帰国者を除いても千人に迫る勢いだ。ごく一部の感染者が多くの人に広がっているとみられ、さらなる拡大を食い止めるために国はクラスター(感染者の集団)の封じ込めに重点を置く。

厚生労働省は、クラスターを封じ込めるために、感染者の濃厚接触者を追跡し、隔離する「接触者追跡」を推進している。また、感染者の発生を抑制するために、大規模な集まりを中止するよう要請している。

中国武漢が今回のコロナウイルスの発生源であることは、中国を含め多くの国が認識を同じとするとところである。武漢より中国全土へのウイルス拡散、そして「一带一路」を経由しての全世界への感染拡大は、状況証拠的には確かなように思われる。

一带一路 (Wikipedia)

2014年11月10日に中華人民共和国北京市で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、習近平総書記が提唱した広域経済圏構想で、中国からユーラシア大陸を経由してヨーロッパにつながる陸路の「シルクロード経済ベルト」(一带)と、中国沿岸部から東南アジア、南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ海路の「21世紀海上シルクロード」(一路)の二つの地域で、インフラストラクチャー整備、貿易促進、資金の往来を促進する計画である。

イタリアが「一带一路」構想に関する覚書に署名 (中国) 主要国にも広がる「一带一路」  
JETRO 2019年6月27日

イタリアは3月23日、中国と「一带一路」構想に関する覚書を締結した。これにより、イタリアはG7の中で同構想に係る覚書を交わした最初の国となった。イタリアは同構想に参画し、インフラ分野などでビジネス協力を展開するほか、中国からの投資増を促し、景気回復の一助とすることなどを狙っている。これに対して、米国やEUの一部の加盟国からは、イタリアの中国傾斜を懸念する声も上がっている。

**中国「一带一路」に逆風**

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大で、中国が提唱する巨大経済圏構想「一带一路」に強い逆風が吹いている。事業の遅れや物流の停滞が深刻化。中国との経済的な結び付きを強めたことで感染が広がったとの見方も出始め、イタリアなど関係国が対中依存を再考するきっかけにもなりそう。

「中国はイタリアと共に健康のシルクロードづくりに貢献したい」。中国の習近平国家主席は16日にイタリアのコンテ首相と電話交談し、感染症対応で連携強化を呼び掛けた。イタリアやイランは中国から遠隔地にもかかわらず感染が比較的早期に拡大。米誌「ワシントン電子版」は「イランとイタリアは一带一路の主要拠点という共通項があった」とし、感染拡大のリスクを指摘している。

ロイター通信によると、インドネシアで高速鉄道建設計画に携わる中国入技師者100人余りが、春節(旧正月)の連休に合わせて帰国後、出国できなくなり足止めされた。中国が注した同計画は、もともと工事が遅れており、さらに感染が最も深刻な湖北省

大との関連性を指摘した。イタリアは昨年3月、先進7カ国(G7)で初めて「一带一路」に参画。これを弾みに欧州諸国への浸透を狙っていた中国にとつて、中国発の感染症が欧州で急拡大したことは懸念となった。中国はイタリアに医師団や医療関連の支援物資を送るなどしてつなぎ留めに躍起になっている。

50カ国に影響 感染拡大を防ぐために中国からの入国制限や検疫強化を実施した国は130カ国あり。中国メディアによると、うち50カ国は東アジアなどの「一带一路」参加国だといふ。

ロイター通信によると、インドネシアで高速鉄道建設計画に携わる中国入技師者100人余りが、春節(旧正月)の連休に合わせて帰国後、出国できなくなり足止めされた。中国が注した同計画は、もともと工事が遅れており、さらに感染が最も深刻な湖北省

武漢市は物流の拠点で、感染症は国際的なサプライチェーン(部品の調達・供給)の要衝を直撃した。ロイターによると、パングラデシユは中国と接する石炭火力発電所などのインフラ計画を遅らせると発表。中国による開発が進むカンボジア南部の橋樑都市シアヌークビルでは中国企業の幹部らが姿を消した。一带一路に積極参加するこれらの国では、人材や物資の供給も中国に依存し、感染拡大に伴う中国企業の活動停滞や武漢市封鎖措置の直接的な影響を受けた。

世界的な感染の拡大は特定の国との人や物の往来が活発化するほど感染症リスクが高まることを示す結果にもなり、対中依存を強めた国が別のパートナー(ワシントン電子版)を求める動きが進むとの見方も出てきている。(北京共同)

**伊など関係国 依存再考も**

感染が最も深刻な湖北省

新型コロナウイルス感染症の影響で、海外となった列車は2月、中国・武漢(新华社共同)

中国共産党が発表する新型コロナウイルス感染者数には大きな疑問が残るようだ。武漢市の新規感染者数が急激に減り始めたのは、習近平主席が武漢市のある湖北省のトップを更迭し、自身の息のかかった後任を送り込んだ時期と一致する。上の新聞記事では、中国全土での感染者数が3月5日を境に減少に転じたことを示すが、下の NewsJapan の記事ではまさにこの時と一致する。トップをすげ替えただけで収まる新型コロナウイルスであるならば、日本も加藤勝信厚生労働大臣を職務怠慢で更迭すればよいことになる。

新型コロナウイルスの蔓延が沈静化し、安全宣言を出したはずの武漢市に、習近平主席が視察したとき、周主席を含めた映像に出てくるすべての人々がマスクをしていたのが印象的であった。この時期、武漢で治療にあたった医療関係者たちがマスクを脱ぎ捨てているパフォーマンス（右図）が、日本国内でも広く動画で伝えられていた姿とは対照的である（YouTube 3月12日）。



<https://www.youtube.com/watch?v=qyc-bWQmyNI>

中国・習主席、新型ウイルス「抑え込み」を宣言 武漢を初視察

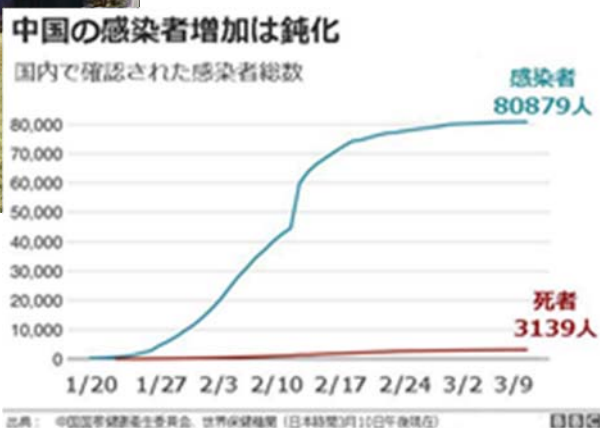
News Japan 2020年03月11日

習主席は湖北省と武漢市における新型ウイルス対策は成功したと述べた

中国の習近平国家主席は10日、新型コロナウイルスの感染が大流行した湖北省武漢市を訪れ、政府が事態を收拾させたとのメッセージを発した。

中国は10日、新型ウイルスの新たな感染者が19人にとどまり、これまでで最少となった。うち2人は海外からの渡航者で、その他は全員、武漢市で確認された。

中国の感染者は約8万800人で、3100人以上が死亡した。



新型コロナウイルス、湖北省のトップ更迭  
後任に上海市長

日本経済新聞 2020/2/13

【北京=羽田野主】中国共産党中央委員会は湖北省のトップ、蔣超良同省党委員会書記の後任に応勇上海市長を充てる人事を決めた。新型コロナウイルスによる肺炎の拡大が止まらず、蔣氏は事実上の更迭になる。習近平（シー・ジンピン）国家主席の側近である応氏を起用し、新型コロナウイルスの対策を急ぐ。同省武漢市トップの馬国強・市党委員会書記の更迭も決めた。

**武漢の状況改善「欺瞞」**  
**習氏視察で故意に患者数減**  
現場医師告発

【北京共同】新型コロナウイルス感染症の被害が最も深刻な中国湖北省武漢市で、10日に行われた習近平国家主席による視察に合わせ、症状の残る多数の患者が隔離を急ぎ解除され、一部の感染検査も停止されたことが19日、分かった。隔離施設の医師が共同通信の取材に、武漢市の状況改善は欺瞞だと告発した。

医師は、習氏への配慮から対策成功アピールのため治療中の患者数を意図的に減らしていると指摘した。中国で現場の医師がこうした告発を行うのは異例。中国政府は武漢で18日に新規感染者が0人になったと発表した。計は「信頼できない」と断言した。

患者が隔離される武漢市の施設で退院の可否を判断する立場にある40代の男性医師が、匿名を条件に書面や通信アプリを通じて取材に応じた。実態が隠されれば、再び大流行が起る恐れがあると強い懸念を示した。

中国の診療方針は感染症患者の退院について、ウイルス検査の結果が連続して陰性となり、「コンピュータ断層撮影（CT）」で肺炎の症状の明らかな改善が確認されることなどを条件としている。

医師によると、習氏の視察以降、自身が担当する患者に肺炎の所見が見られたにもかかわらず、感染対策を担う当局の「専門団」の判断で隔離が解かれた。この頃から解除の判断が甘くなり「感染者の大規模な隔離解除が始まった」という。

外来患者も発熱などの症状がある人への問診が簡略化され、感染時に体内で生成される抗体を検出する血液検査が停止された。結果として「感染疑い例が軒たてられた」という。

イタリアの死者、中国上回り世界最多に 新型コロナ

3/20(金) 10:05 配信 CNN.co.jp

ローマ（CNN） イタリアで新型コロナウイルスのために死亡した人が、同ウイルスの発信源だった中国の死者を上回り、世界で最も多くなった。

イタリア市民保護局は19日の記者会見で、新型コロナウイルスによる死者が3405人になったと発表した。米ジョージア州ホプキンス大学によると、中国の死者は3249人。イタリアの方が156人多くなった。

イタリアは感染者数の激増を受けて中国と同様の移動制限を全土に拡大、6000万人あまりが封鎖状態に置かれている。

同国の医療態勢は、特に患者が集中している北部では瀬戸際の状況にある。

患者は仮設の病院で手当てを受け、公立病院では廊下に行列ができています。適切な装備が不足していることから医師や患者にも感染が広がっている。

イタリアの対応を支援している中国赤十字の孫碩鵬副社長は19日、北部ロンバルディア州の州都ミラノで記者会見し、同州の対策は不十分だと指摘した。

会見で孫氏は、新型コロナウイルスが発生した中国の武漢市では封鎖に踏み切ってから1カ月でピークから減少に転じたこと述べ、「ここミラノの封鎖はそれほど嚴重ではない。公共交通機関は運行を続け、人々は動き回り、ホテルではディナーやパーティーが続き、マスクもしていない。COVID-19との戦いには全市民を巻き込む必要がある」と強調した。

(参考) イタリアの北部には多くの中国人が住む

イタリア ロンバルディア州 (Wikipedia)

### 姉妹地域・提携地域

大阪府 (日本)

2002年7月9日 友好提携合意議定書調印

ロンバルディア州知事が大阪府訪問時に提携打診。中小企業が多く経済活動が活発という共通点を持つ。なお、これより先にミラノ市と大阪市が姉妹都市提携を行っている。

ロンバルディア州はイタリア共和国北西部に位置する州。州都はイタリア第二の都市であるミラノ。

イタリア最大の人口(約1000万人)を擁する州であり、これはイタリアの人口の1/6にあたる。また、イタリアの国内総生産(GDP)の1/5を生産する。

### 主要な都市

人口8万人以上のコムーネは以下の通り。人口は2011年1月1日現在。

ミラノ (ミラノ県) - 1,324,110人

ブレシア (ブレシア県) - 193,879人

モンツァ (モンツァ・エ・ブリアンツァ県) - 122,712人

ベルガモ (ベルガモ県) - 119,551人

コモ (コモ県) - 85,263人

ブスト・アルシーツィオ (ヴァレーゼ県) - 81,760人

ヴァレーゼ (ヴァレーゼ県) - 81,579人

セスト・サン・ジョヴァンニ (ミラノ県) - 81,130人



「中国人に雇用、文化を奪われる」イタリアで高まる中国系移民への反感

New Sphere Dec 16 2019

イタリアは、ヨーロッパで最も中国人人口の多い国の一つだ。移民の多くは、10年~20年以上前に渡ってきた人々で、現地で生まれた2世も成長し、さまざまなビジネスにも参入するようになった。彼らに雇用や文化を奪われると考えるイタリア人も多く、差別や偏見が広がっている。

1990年代に入ると、安い労働力で作られた中国製の生地に顧客を奪われた。2001年から2011年の間に、プラートの繊維企業は半減。工場の閉鎖が相次ぎ、雇用も奪われた。冬

時代に入ったプラートにやってきたのは中国人だった。彼らは閉鎖された工場を買い取り、新たに工場を増やして、中国から輸入した生地でイタリアンスタイルの衣類を製造した。そして「メイド・イン・イタリアー」として出荷している。

プラートには2万人以上の合法的な中国人移民がおり、違法移民も1万5000人はいるとされている。中国人向けの商店やレストランが現れ、郊外には中国人所有の輸出用衣類の倉庫が並ぶ。地元のイタリア人女性は、町の姿を変える移民を快く思っておらず、イタリアで生まれ育ちイタリア語を話しても、中国人はイタリア人ではないとNYTに話している。

#### ◆バリストは中国人、変わるミラノのバール

中国系移民への反感は繊維業界だけではない。サウスチャイナ・モーニング・ポスト紙(SCMP)によれば、イタリアには30万人以上の中国人移民が合法に住んでおり、違法に滞在している者はそれ以上だという。90%は浙江省の出身者ということだ。イタリアでは、コーヒーマシンを使ってコーヒーを提供するバールがどこにでもあるが、ミラノでは中国人経営の店が増えているという。2019年には、4891件が登録されているが、そのうち562件は中国人経営だ。

プラート (Wikipedia)

人口 192,469 人 (2017-01-01)

人口密度 1,972.2 人/km<sup>2</sup>

プラート (伊: Prato) は、イタリア共和国トスカーナ州北西部の都市で、その周辺地域を含む人口約19万人の基礎自治体 (コムーネ)。プラート県の県都である。伝統的な繊維業の町である。

1950年代以降、プラートは多くの移民を受け入れてきた。最初は南イタリア出身者、次いで外国移民、現在は1980年代後半から移り住み始めた中国人移民が最大のコミュニティーをつくっている。

